

2025 年 5 月 30 日

日本放送協会

会長 稲葉延雄 様

(「写」 副会長 井上樹彦 様)

「日本の真の独立を目指す有識者会議」(ECAJTI)

〒103-0005 東京都港区西新橋 2-13-14 新佐久間ビル 3 階

NHK 稲葉延雄 会長に対する公開質問状

拝啓

4 月 28 日付け貴信受領いたしました。われわれが提示した回答期限通りに返答していただき有難うございます。しかしながら、ご返答の中の基本的認識に全く納得できませんので、今回、公開質問状をお送りすることにいたしました。以下、基本的認識、質問事項および要望事項と、順を追って述べていくことにいたします。

【基本的認識】

まずご返答の第 2 パラグラフにあります「そうした過去の特殊な政治体制下における経緯をもって、現在の NHK に懺悔が必要であるとのご主張には、やや飛躍があるのではないかと考えます」ということですが、われわれとしては、過去の特殊な政治体制下（GHQ 占領下）で歪曲させられてしまった歴史認識を、NHK が今日もそのまま約 80 年間も踏襲してきてしまっていることを問題にしています。

それが、現在の日本における多数意見になってしまっているのが現状ですが、それは、NHK をはじめとするメディアが、今日に至るまでも、戦勝国のプロパガンダを基本的にはそのまま踏襲しているからに外なりません。その結果、わが国は、戦後 80 年たった今日でも、歴とした独立国とはいえない状況にあるわけです。日本のメディア全体に罪があるわけですが、NHK は、内幸町の放送会館に、GHQ の洗脳部隊（CIE）と検閲部隊（CIS/ CCD）に乗り込まれ、直接指導を受けたわけですから、その最たるものといえます。

占領下において、GHQ のプロパガンダ（洗脳工作）に協力させられた当時のメディア人に罪はありません。罪は、1952 年 4 月 28 日の日本の主権回復後も、GHQ による日本国民に対する洗脳工作の事実を告白・懺悔せず、歪曲された歴史認識を、今日に至るまでそのまま踏襲してきてしまったすべてのメディア人にあるのです。

NHK をはじめとする既存メディアは、歴史の真実ではなく、基本的には GHQ から洗脳された後の歴史認識、すなわち自虐史観を報道しています。歴史の真実を伝えることは、公

器であり、唯一の公共放送としての NHK の国民に対する厳粛な義務のはずです。大きな書店に行けば、いまや GHQ の洗脳から脱却した近現代史の真実を伝える本や雑誌は多数ありますが、既存メディアはいまだに、歪曲され洗脳された歴史認識を伝えるばかりです。

【質問事項と要望事項】

- (1) NHK は、先の戦争について報道する際、いまでも必ず「太平洋戦争」という用語を使いますが、これは、いわば「GHQ 洗脳用語の一丁目一番地」です。なぜなら、GHQ の洗脳部隊である CIE（民間情報教育局）の企画課が作成した冊子『太平洋戦争史』（高山書院、1946 年 4 月）というものがありますが、これは GHQ が日本国民を洗脳するためのバイブルとして使用したものだったからです。このことは、NHK が、「過去の特異な政治体制下」で植え込まれた歴史認識にいまだに支配されている何よりの証拠ではないでしょうか。GHQ は、大東亜戦争という用語の使用を禁止し、太平洋戦争という用語を使うように強要しました。いまだに「太平洋戦争」を使用し続ける何か正当な理由がありますか、もしあるなら明らかにして下さい。ないのなら、日米開戦時に日本政府が与えた正式名称である「大東亜戦争」もしくは「第二次世界大戦」あるいは「日米戦争」に、直ちに改めていただきたいと思います。
- (2) 1950 年代から 1960 年代前半にかけて、NHK の大幹部だった春日由三氏（専務理事・放送総局長）が、退局後に出版した『体験的放送論』（日本放送出版協会、1967 年 1 月）の一節「〈真相はこうだ〉の真相：CIE 監督下の放送」（pp. 267-274）は、GHQ に乗り込まれ、当時演劇部の副部長として、日本人に戦争に対する罪の意識を植え付けるための GHQ のプロパガンダ番組『真相はこうだ』を担当させられた時のことについて、「一種の罪ほろぼし」として、自らの体験談を記したものです。そこで明らかにしていることは、①GHQ が書いたシナリオにしたがって酷い内容の番組を強制的に嫌々放送させられたこと、②番組開始直後はリスナーからの抗議の手紙が殺到したことを伝えています。すなわち、GHQ に洗脳される以前の日本人に戦争に対する罪の意識はなかったということです。これは、春日氏ご本人がご自身の体験談を綴ったものであり、歴史の一次資料（第一級資料）です。いまの NHK が、もし春日氏の指摘を否定するというのなら、それに対抗しうる歴史の一次資料を提出して下さい。それができなかつたら、ラジオ番組『真相はこうだ』の真相について、春日氏が指摘したと同じ趣旨の特集番組を企画して大々的に放送して下さい。なお、春日氏の著書における告白・懺悔は、NHK 退局後のことであり、日本放送協会として告白・懺悔することが不可欠です。

- (3) 日本のメディア各社は、日本の主権回復以来 73 年間にも渡って、GHQ による洗脳工作の事実について報道しないという不作為の大罪を積み上げてしまいました。これは本年 1 月 6 日付け NHK 会長宛て公開書簡でも指摘したことです。今後、一度くらい、この問題を報道するということでは、とても罪滅ぼしにはなりません。今後、毎月、あたかも「月命日」のように、然るべき記念日に、大特集を継続的に組むぐらいのことをしてほしいと考えます。新聞各社の場合には、『太平洋戦争史』の掲載が始まったのが 12 月 8 日ですから、「月命日」は 8 日でしょう。NHK の場合には、ラジオ番組『真相はかうだ』が始まったのが 12 月 9 日ですから、9 日を「月命日」としては如何でしょうか。すなわち、毎月 9 日に、GHQ による洗脳工作の実態を伝える大特集を組んで報道し、それを何年間か続けていただくということです。それが実現すれば、日本国民がかかった GHQ の洗脳から脱出することができ、自虐史観はかなりの程度是正されることになるでしょう。

【おわりに】

われわれは、NHK の番組の全般的な質は高いと認識しています。われわれが問題にしているのは、率直に言って、NHK の歴史認識がなっていないということです。われわれが要求していることは、近現代史の真実を伝えて欲しいという一念です。

2024 年 8 月 19 日の「国際放送」における中国人スタッフによる番組乗っ取り事件、2025 年 2 月 10 日の「国際放送」における字幕の AI 翻訳のミス、1955 年放映の番組『緑なき島』を巡り NHK 会長が軍艦島の元住民に、2025 年 3 月 26 日によりやく謝罪したものの、その番組によって生じた日本の国際的な不名誉を挽回するような訂正番組をいまだに放映していないことなどは、いずれも NHK の歴史認識が非常に甘いことと無縁ではありません。メディアは、常に国際的な歴史論戦の現場にいるという緊張感を持って任務に従事しなければならないということを肝に銘じるべきです。

NHK 内部の調整にお時間を要することは理解できますので、今年の 8 月 15 日までに、ご回答いただければ幸いです。

最後になりましたが、季節の変わり目ですので、どうぞご自愛ください。

敬具

「日本の真の独立を目指す有識者会議」(ECAJTI)

創立メンバー

議長 小堀桂一郎＝東京大学名誉教授、文学博士

副議長 山下英次＝大阪市立大学名誉教授、経済学博士

有識者議員 田母神俊雄＝田母神事務所代表、元・航空自衛隊航空幕僚長

有識者議員 松田 学＝松田政策研究所(MPI)代表、元・衆議院議員

有識者議員 矢野義昭＝日本安全保障フォーラム(JAFOS)会長、博士(安全保障)、元・
陸上自衛隊陸将補

有識者議員(五十音順)

阿部正寿＝世界戦略総合研究所 会長

阿羅健一＝南京事件研究家

稲村公望＝元・日本郵便 副会長

井上正康＝大阪市立大学名誉教授、医学博士、健康科学研究所・現代適塾塾長

今田忠彦＝元・横浜市教育委員長

宇山卓栄＝著述家

織田哲司＝明治大学教授、博士(文学)

小山和伸＝神奈川大学教授・博士(経済学)

折本龍則＝千葉県議会議員

川久保 剛＝麗澤大学教授

河原昌一郎＝(公財)日本農業研究所理事・研究員、博士(農学)、博士(安全保障)

菊池伸英＝愛媛県議会議員

北村 稔＝立命館大学名誉教授、法学博士

久野 潤＝日本経済大学准教授

小山常実＝日本憲法史・教育史研究者

杉田水脈＝前・衆議院議員

高橋史朗＝麗澤大学特別教授

田沼隆志＝元・衆議院議員

津田幸男＝筑波大学名誉教授、Ph. D. (米国 南イリノイ大学)

坪内隆彦＝ジャーナリスト、『維新と興亜』編集長

中村敏幸＝近現代史研究者

西村眞悟＝元・衆議院議員

西村日加留＝前・大阪府議会議員

沼田善子＝筑波大学名誉教授、博士(言語学)

林 千勝＝近現代史研究家

樋口隆一＝明治学院大学名誉教授・哲学博士
一二三朋子＝元・筑波大学教授・博士（人文科学）
不破大仁＝石川県議会議員
松本國俊＝朝鮮近現代史研究所 所長
松浪武久＝大阪府議会議員
松原孝明＝大東文化大学 法学部教授
宮崎正弘＝評論家、作家
三輪和雄＝「日本世論の会」会長
村田春樹＝「いまさらきけない皇室研究会」顧問
モーガン、ジェイソン＝麗澤大学 国際学部准教授、Ph. D.（米国 ウィスコンシン大学）
茂木弘道＝「史実を世界に発信する会」会長
諸井真英＝埼玉県議会議員
諸橋茂一＝「教育を考える石川県民の会」会長
山口敬之＝ジャーナリスト
山中 泉＝（一社）IFA 代表理事
藪内正樹＝環太平洋大学 国際経済経営学部教授、敬愛大学名誉教授
山本優美子＝（一社）国際歴史論戦研究所（iRICH）所長、なでしこアクション代表
渡辺惣樹＝日米近現代史研究家
渡辺利夫＝拓殖大学特別顧問、東京工業大学名誉教授、経済学博士

賛同者（五十音順）

阿部芳男＝日本会議 東京都板橋支部長・農学博士
荒木田 修＝弁護士
石井希尚＝エデュテインメント一座 HEAVENESE 代表、Committed Japan 牧師
伊勢雅臣＝「国際派日本人養成講座」発行者
漆原亮太＝（株）啓文社 代表取締役
大園義友＝東京経営者倶楽部 代表
大場一央＝早稲田大学非常勤講師・博士（文学）
大橋武郎＝認定 NPO 法人「日本を護る会」理事長、元・航空自衛隊空将補
岡 真樹子＝「愛国女性のつどい花時計」代表
奥本康大＝（一社）「空の神兵慰霊顕彰碑護持会」代表
オルホノド・ダイチン＝世界南モンゴル会議 常任副会長
木上和高＝「教育を良くする神奈川県民の会」運営委員長
空花正人＝「新し歴史教科書をつくる会」東京支部顧問
葛目浩一＝新聞『アイデンティティ』主幹
込山久夫＝新しい歴史教科書をつくる会 東京支部長

近藤倫子＝著述家

新藤加菜＝東京都港区議会議員

鈴木静雄＝（一財）ひと・住文化研究所 代表理事

田上久大＝国土情報社 社長

高岡功太郎＝（一社）板垣退助先生顕彰会 理事長

中村恵子＝健康・環境デザイン研究所 所長

中村 稔＝（一財）日本安全保障フォーラム（JAFOS） 理事

服部 剛＝中学校教諭、「授業づくり JAPAN 横浜（中学）」代表

林 弘明＝「尖閣諸島を守る会」会長

日高裕明＝（株）ハート出版 代表取締役

平岡龍人＝学校法人 清風明育社 理事・文学博士

南木隆治＝（認定 NPO 法人）岸和田健老大学 客員教授

綿貫 洋

* 署名者＝計 77 名